教科書 p.24～25

年	組	番
名前		

探究力 UP ワークシート

① 自然災害による被害を減らすには？

■資料読解の問い

ハザードマップで、浸水の被害があるとされているのはどのような所だろうか？

STEP 1　既習事項の確認〔知識・技能〕

1　河川の中・下流域で一般的にみられる地形を、教科書 p.19 を参考に書き出そう。

2　STEP 1 の 1 で書き出した地形を一つ選び、その地形で起こりうる自然災害にはどのようなものがあるのか、説明しよう。

STEP 2　資料の読解〔思考・判断・表現〕

1　鬼怒川の両岸にはどのような土地が広がっているのか、教科書 p.24 図 3 から地形の分類に着目して読み取ろう。

2　ハザードマップで浸水被害が想定されている所とされていない所にはどのような違いがあるのだろうか。地形的な特徴に着目しながら、次の語句を用いて説明しよう。

【　氾濫平野などの低地　台地　】

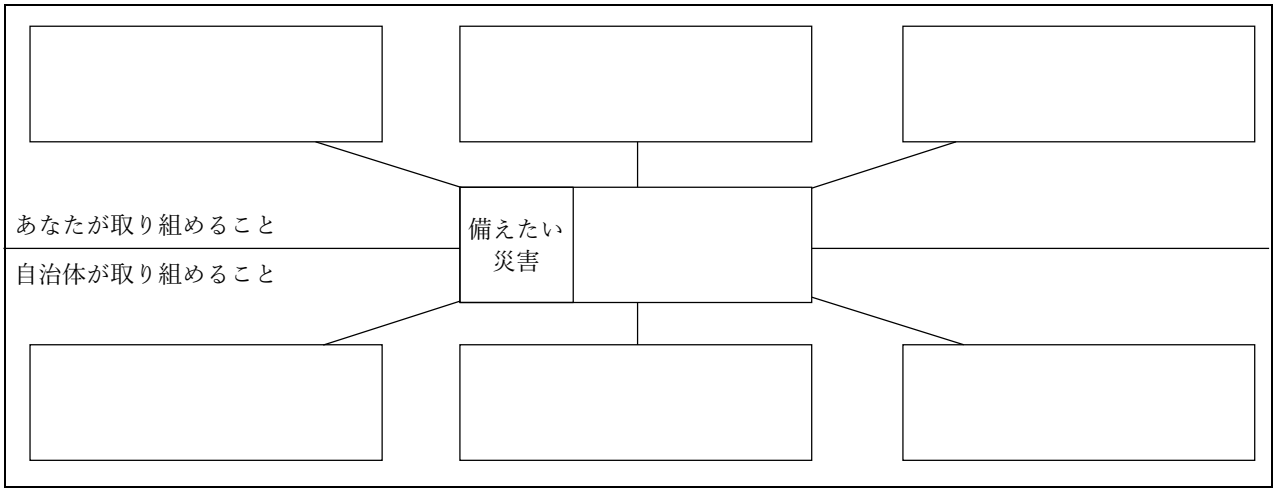
■国土像探究に向けて

自然災害による被害を減らすためにできることを探究しよう。

STEP 3　自身で探究〔思考・判断・表現〕

1　あなたの暮らす地域にはどのような地形的な特徴があり、また、どのような自然災害が起こりうるのだろうか。あなたの暮らす地域のハザードマップ（→教科書 p.66）や地理院地図（→教科書 p.21、67）などを用いて調べよう。

2　STEP 3 の 1 で挙げた自然災害による被害を減らすためには、どのような取り組みが効果的だろうか。教科書に掲載されている資料やインターネットで調べられる資料などから、あなたが取り組めることと、あなたの暮らす自治体が取り組めることの二つに分けて、教科書 p.25 図 7 のように整理しよう。



STEP 4　協働・まとめ〔主体的に学習に取り組む態度〕

1　グループになり、STEP 3 で探究したことを発表しよう。また、あなた自身ができることには、どのようなことがあるのか議論し、ほかの人の意見を聞いて、新たな視点やさらに調べてみたいことなどを書き出そう。

【新たな視点】

【さらに調べてみたいこと】

【そのほか】

振り返り

1　ここまでの学習を振り返って、以下の項目について自己評価をしよう。十分に達成できた項目には◎を、一部は到達できた項目には○を、到達には努力が必要な項目には△を、それぞれつけよう。

ハザードマップで浸水の危険があるとされているのはどのような所なのか、理解できた。	
あなたの暮らす地域で起こりうる自然災害について、地形的な特徴を踏まえてまとめられた。	
自然災害による被害を減らすために効果的な取り組みについて、あなたが取り組めることとあなたの暮らす自治体が取り組めることの二つに分けて表現し、ほかの人と議論できた。	